

# 国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 002-72・002-82・002-92	B 5 938	令和6年
15	三省堂	三省堂◆	国語 015-72・015-82・015-92	B 5 1,098	
17	教育出版	教 出◆	国語 017-72・017-82・017-92	B 5 1,087	
38	光村図書出版	光 村◆	国語 038-72・038-82・038-92	B 5 1,028	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### 【学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考：中学校学習指導要領解説 国語編（以下、「解説 国語編」とする。）「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

#### (2) 学習内容の改善・充実

##### ① 語彙指導の改善・充実

中央教育審議会答申において、＜略＞語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。

語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めることである。このことを踏まえ、各学年において、指導の重点となる語句のまとまりを示すとともに、語句への理解を深める指導事項を系統化して示した。

② 情報の扱い方に関する指導の改善・充実

急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。〈略〉

話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることが、話や文章を正確に理解することにつながり、また、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが、話や文章で適切に表現することにつながるため、このような情報の扱い方に関する「知識及び技能」は国語科において育成すべき重要な資質・能力の一つである。

こうした資質・能力の育成に向け、「情報の扱い方に関する事項」を新設し、「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系統に整理して示した。

③ 学習過程の明確化、「考えの形成」の重視

〈略〉〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。

また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視し、「考えの形成」に関する指導事項を位置付けた。

④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

〈略〉「伝統的な言語文化」、「言葉の由来や変化」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理し、その内容の改善を図った。

(3) 学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としている。このため、小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕の指導事項及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、重点を置くべき指導内容を明確にし、その系統化を図った。

(4) 授業改善のための言語活動の創意工夫

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、どのような資質・能力を育成するかを(1)の指導事項に示し、どのような言語活動を通して資質・能力を育成するかを(2)の言語活動例に示すという関係を明確にするとともに、各学校の創意工夫により授業改善が行われるようにする観点から、従前に示していた言語活動例を言語活動の種類ごとにまとめた形で示した。

(5) 読書指導の改善・充実

〈略〉各学年において、国語科の学習が読書活動に結び付くよう〔知識及び技能〕に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例を示した。

【参考：「解説 国語編」第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 教材についての配慮事項から（抜粋）】

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は、第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度を育成することをねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。また、第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれ(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

(2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。

ア 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

イ 伝え合う力、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするのに役立つこと。

ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。

エ 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。

オ 人生について考えを深め、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を育てるのに役立つこと。

カ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。

キ 我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。

ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

- (3) 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。
- (4) 我が国の言語文化に親しむことができるよう、近代以降の代表的な作家の作品をいずれかの学年で取り上げること。

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている単元数	学年の目標(1)	個
b 〔思考力、判断力、表現力等〕における3領域ごとの主な単元数	教科の目標 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 1」	個、%
c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 3」	個
d 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 3」	個
e 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品数	学年の目標(2)	個
f 資料の内容 ・文学的な文章教材 ・説明的な文章教材 ・読書に関する項目 ・口語文法に関する項目 ・漢字 ・語句・語彙に関する項目 ・情報の扱い方に関する項目 ・古典及び古典の知識に関わる項目 ・文字に関する項目 ・言語活動に関する項目 ・発展的な内容 ・年表	第4章指導計画の作成と内容の取扱い	ページ
g 発展的な内容を取り上げている箇所	中学校学習指導要領第1章総則	箇所

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

###### a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている単元の名称（別紙2-1）

言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項の内容を取り上げている単元の名称

- ・ 言葉の特徴や使い方に関する事項
- ・ 情報の扱い方に関する事項
- ・ 我が国の言語文化に関する事項

###### c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名（別紙2-2）

- ・ 話す活動

- ・ 聞く活動
- ・ 話し合う活動
- d [思考力、判断力、表現力等]「書くこと」の言語活動別の主な単元名（別紙2-3）
  - ・ 説明的な文章を書く活動
  - ・ 実用的な文章を書く活動
  - ・ 文学的な文章を書く活動
- e [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名（別紙2-4）
  - ・ 説明的な文章
  - ・ 文学的な文章
  - ・ 詩歌（古典を含まない）
- f 資料の内容のページ数（別紙1）
- g 発展的な内容を取り上げている箇所名称（別紙2-5）

<その他>

- \* 1 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料（別紙2-6）
- \* 2 北朝鮮による拉致問題の扱い
  - <調査の結果、\* 2については記載のないことを確認した。>
- \* 3 防災や自然災害の扱い（別紙2-7）
- \* 4 障害者理解に関する扱い（別紙2-8）
- \* 5 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-9）
- \* 6 固定的な性別役割分担意識に関する記述等（別紙2-10）

② 上記調査研究項目を設定した理由等

- ・ 解説国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点(1)目標及び内容の構成」にある、三つの柱に沿った資質・能力の整理を踏まえ、構成し直した〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に基づいて調査することとした。(a、b、c、d、e)
- ・ 解説国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の3「教材についての配慮事項」では、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。」とあることから、言語活動別に整理して調査を行うこととした。特に「C 読むこと」については、「各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。」とあることから、文種別に調査を行うこととした。(c、d、e)
- ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領「第1章 総則 第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項 (1)内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3)指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。  
そのため、教科書に発展的な内容として明記されている箇所の数について調査することとした。(g)

<その他>

- ・ 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料については、社会科の学習内容との関連性を踏まえ、中学校学習指導要領「第2章 各教科 第2節 社会 第2 各分野の目標及び内容〔歴史的分野〕 3 内容の取扱い (3)ア」において「神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせる」とあることから、生徒に興味や関心をもたせることのできる資料について調査する>(\* 1)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針1「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて調査する>(\* 2)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力

の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。（＊3）

- ・ 東京都教育委員会の基本方針1である「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を踏まえ、障害のある人も障害のない人もともに尊重し合いながら活躍できる社会、共生社会の実現を目指す上で、障害のある幼児・児童・生徒に対する理解を深められるようにするため、その扱いについて調査する。（＊4）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（＊5）
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。（＊6）

③ 調査研究の方法（a～gの分野に分類する。）

- a [知識及び技能] 別の主な単元について整理する。
- b [思考力、判断力、表現力等] における3領域ごとの単元について整理する。
- c、d [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の言語活動別に分類した主な単元について整理する。
- e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」について、説明的な文章、文学的な文章、詩歌（古典を含まない）の文種別に作品名と筆者名を整理する。
- f 該当する教材名の掲載されたページ数について整理する。
- g 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- \* 1 神話や伝承について取り上げている項目及び資料の概要を調査する。
- \* 2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 3 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 4 障害者理解を深める単元・項目・記述の概要を調査する。
- \* 5 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている記述の概要（項目）を調査する。
- \* 6 固定的な性別役割分担意識について考える単元・項目・記述の概要を調査する。

（2） 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、記載する。

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- イ ユニバーサルデザインの視点
- ウ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【 (1) 内容 ア 調査研究の総括表 】 (中学校 国語)

項目 発行者	a [知識及び技能]の内容を取り 上げている単元数			b [思考力、判断力、表現力等]における3 領域ごとの主な単元数				c [思考力、判断力、表現力等]「話すこ と・聞くこと」の言語活動別の主な単元数				d [思考力、判断力、表現力等]「書くこ と」の言語活動別の主な単元数				e [思考力、判断力、表現力等]「読むこ と」の文種別作品数			
	方言 に関する 特徴 事項 や 使い 方	情 報 事 項 の 扱 い 方 に 関 連	に 我 が 国 の 事 項 語 文 化	と 話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	計	話 す 活 動	聞 く 活 動	話 し 合 う 活 動	計	説 明 的 な 文 章 を 書 く	実 用 的 な 文 章 を 書 く	文 学 的 な 文 章 を 書 く	計	説 明 的 な 文 章	文 学 的 な 文 章	詩 歌 （ 古 典 を 含 ま ない ）	計
東書	37	8	36	9 14.5%	14 22.6%	39 62.9%	62 100.0%	3	3	3	9	5	4	5	14	30	17	49	96
三省堂	49	3	18	10 14.7%	16 23.5%	42 61.8%	68 100.0%	3	0	7	10	6	6	4	16	25	16	40	81
教出	45	10	55	13 19.1%	14 20.6%	41 60.3%	68 100.0%	6	3	4	13	8	4	2	14	31	20	61	112
光村	43	14	45	19 23.2%	19 23.2%	44 53.7%	82 100.0%	6	7	6	19	7	7	5	19	27	26	70	123
平均値	43.5	8.8	38.5	12.8	15.8	41.5	70.0	4.5	3.3	5.0	12.8	6.5	5.3	4.0	15.8	28.3	19.8	55.0	103.0

※a～eにおいては、巻頭・巻末資料に掲載されているものは数に含めていない。  
 表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。  
 b、c、dは各領域の言語活動別の主な単元数を示している。  
 eは文種別作品数を示している。

「別紙1」【 (1) 内容 ア 調査研究の総括表 】 (中学校 国語)

項目	f 資料の内容(ページ数)												て <sup>g</sup> 発展的な内容を取り上げ ている箇所
	文学的な文章教材	説明的な文章教材	読書に関する項目	口語文法に関する項目	漢字	語句・語彙に関する項目	情報の扱い方に関する項目	古典及び古典の知識に 関わる項目	文字に関する項目	言語活動に関する項目	発展的な内容	年表	
発行者													
東書	64	16	12	35	60	1	8	15	0	12	2	0	1
三省堂	59	20	24	47	80	34	27	54	1	45	0	12	0
教出	21	19	0	47	83	39	13	11	0	8	2	4	1
光村	34	8	4	44	99	25	17	18	0	49	2	6	1
平均値	44.5	15.8	10.0	43.3	80.5	24.8	16.3	24.5	0.3	28.5	1.5	5.5	0.8

fは巻頭・巻末資料に掲載されているものの内容を示している。  
「文学的な文章教材」は、文学的な文章などの項目のことである。  
「説明的な文章教材」は、説明的な文章などの項目のことである。  
「読書に関する項目」は、読書案内や本の検索方法などの項目のことである。  
「口語文法に関する項目」は、口語文法の復習やまとめ、練習問題などの項目のことである。  
「漢字」とは、学習漢字などのまとめや漢字の練習の項目のことである。  
「語句・語彙に関する項目」は、辞典・辞書に関することや語彙集などの項目のことである。  
「情報の扱い方に関する項目」は、情報の扱い方に関する事項に関する項目のことである。  
「古典及び古典の知識に関わる項目」は、古典作品やそれらを読むために必要な知識などの項目のことである。  
「文字に関する項目」は、文字の成り立ちやローマ字、書体などの項目のことである。  
「言語活動に関する項目」は、話すこと・聞くことや書くこと、読むこと等の言語活動に必要な技術や知識の項目のことである。  
「発展的な内容」は、教科書に「発展」の表記がある資料のことである。  
gは、教科書に「発展」の表記がある資料の箇所数を示している。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称 東書】(中学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称		
	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語探検 音声の働きや仕組み</li> <li>漢字道場 活字と書き文字・画数・筆順</li> <li>文法の窓 文法とは、言葉の単位 切り方変われば意味変わる</li> <li>漢字道場 音読み・訓読み</li> <li>日本語探検 接続する語句・指示する語句 無重力の空間を楽しもう</li> <li>漢字道場 国語の学習に関わる漢字</li> <li>日本語探検 語の意味と文脈 「空飛ぶボール」でひとつ飛び</li> <li>文法の窓 文の成分・連文節 文節をつなぐ見えない糸</li> <li>漢字道場 漢字の部首</li> <li>漢字道場 形の似た漢字</li> <li>漢字道場 他教科で学ぶ漢字</li> <li>文法の窓 単語の分類 単語分類マシンを完成させよう</li> <li>漢字道場 漢字の成り立ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と論理の学び 情報の分類・比較</li> <li>情報と論理の学び 意見と根拠</li> <li>情報と論理の学び 原因と結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の活用</li> <li>平和のバトン</li> <li>世界を広げる本 戦争・平和</li> <li>夏休みにおすすめの本</li> <li>日本語探検 方言と共通語 全国のグルメ祭りに行こう</li> <li>移り行く浦島太郎の物語</li> <li>伊曾保物語</li> <li>竹取物語</li> <li>矛盾</li> <li>お話し読書のすすめ</li> <li>世界を広げる本 さまざまな種類の本</li> <li>本のポップ</li> <li>未来を考える本</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字道場 同訓異字</li> <li>文法の窓 活用のない自立語 単語の区別で絵を塗ろう</li> <li>日本語探検 敬語 宇宙人「ハテナー」がいらいっしやる？</li> <li>漢字道場 漢字の意味</li> <li>日本語探検 類義語・対義語・多義語 未知の生物「ふわボン」</li> <li>漢字道場 熟語の構成・熟字訓</li> <li>文法の窓 活用のある自立語 ばらばら動詞カードをかたづけよう</li> <li>漢字道場 同音異義語</li> <li>日本語探検 話し言葉と書き言葉 おしゃべり星人とふでまめ星人</li> <li>漢字道場 紛らわしい漢字</li> <li>漢字道場 他教科で学ぶ漢字(1)</li> <li>文法の窓 助詞・助動詞 絵に合う助詞・助動詞を探そう</li> <li>漢字道場 他教科で学ぶ漢字(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と論理の学び 情報の関係の表し方</li> <li>情報と論理の学び 意見と根拠の吟味</li> <li>情報と論理の学び 具体と抽象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット・新聞の活用</li> <li>経節——世界に誇る伝統食</li> <li>世界を広げる本 日本文化</li> <li>夏休みにおすすめの本</li> <li>枕草子・徒然草</li> <li>平家物語</li> <li>漢詩</li> <li>メディアの垣根を越えて</li> <li>世界を広げる本 ほかのメディアへ</li> <li>ビブリオバトル</li> <li>未来を考える本</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語探検 間違えやすい敬語 宇宙人の先生がいらいっしやられる？</li> <li>漢字道場 間違えやすい言葉</li> <li>漢字道場 送り仮名</li> <li>文法の窓 表現に生きる文法 謎の予告状</li> <li>漢字道場 読み方の難しい漢字</li> <li>日本語探検 連語・慣用句 アイスクリュー屋での言い争い</li> <li>日本語探検 和語・漢語・外来語 お化けの館でクイズ対決</li> <li>漢字道場 他教科で学ぶ漢字(1)</li> <li>漢字道場 他教科で学ぶ漢字(2)</li> <li>漢字道場 四字熟語</li> <li>文法の窓 文法のまとめ 怪盗Xから名品を守ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と論理の学び 情報の信頼性の確かめ方</li> <li>情報と論理の学び 具体例、根拠、反対の関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何のために「働く」のか</li> <li>世界を広げる本 働き方・生き方</li> <li>読書会の方法</li> <li>夏休みにおすすめの本</li> <li>日本語探検 言葉の移り変わり タイムマシンで出発！言葉の昔へ</li> <li>万葉・古今・新古今</li> <li>おくのほそ道</li> <li>論語</li> <li>本との付き合い方</li> <li>世界を広げる本 本・読書</li> <li>私のベストブック</li> <li>未来を考える本</li> </ul>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称 三省堂】(中学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称		
	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉発見1 音声のしくみとはたらき</li> <li>・漢字を身につけよう①</li> <li>・漢字のしくみ1 活字と手書き文字・画数・筆順</li> <li>・漢字を身につけよう②</li> <li>・文法の窓1 言葉の単位・文節の関係</li> <li>・漢字のしくみ2 成り立ちと部首</li> <li>・漢字を身につけよう③</li> <li>・言葉発見2 接続する語句・指示する語句</li> <li>・漢字を身につけよう④</li> <li>・漢字のしくみ3 漢字の音と訓</li> <li>・漢字を身につけよう⑤</li> <li>・漢字を身につけよう⑥</li> <li>・言葉発見4 比喩・倒置・反復・対句・体言止め</li> <li>・漢字を身につけよう⑦</li> <li>・文法の窓2 単語の種類・品詞</li> <li>・漢字を身につけよう⑧</li> <li>・漢字を身につけよう⑨</li> <li>・歌の言葉 始まりの歌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ 情報の扱い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の読書体験 本を読むことのおもしろさ</li> <li>・月を思う心</li> <li>・竹取物語</li> <li>・故事成語——矛盾</li> <li>・言葉発見3 方言と共通語</li> <li>・読書活動 私が選ぶこの一冊</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉発見1 話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字を身につけよう①</li> <li>・言葉発見2 言葉のはたらきとコミュニケーション</li> <li>・漢字を身につけよう②</li> <li>・文法の窓1 用言の活用</li> <li>・漢字を身につけよう③</li> <li>・言葉発見3 敬語の意味と種類</li> <li>・漢字を身につけよう④</li> <li>・漢字のしくみ1 熟語の構成・熟字訓</li> <li>・漢字を身につけよう⑤</li> <li>・文法の窓2 助詞・助動詞のはたらき</li> <li>・漢字を身につけよう⑥</li> <li>・言葉発見4 類義語・対義語、多義語</li> <li>・漢字を身につけよう⑦</li> <li>・漢字のしくみ2 熟語の読み</li> <li>・漢字を身につけよう⑧</li> <li>・漢字を身につけよう⑨</li> <li>・歌の言葉 宿命</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ 情報の扱い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の読書体験 生涯の友と出会う</li> <li>・枕草子・徒然草</li> <li>・平家物語</li> <li>・漢詩の世界</li> <li>・読書活動 ビブリオバトル</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉発見1 敬語のはたらき</li> <li>・漢字を身につけよう①</li> <li>・漢字を身につけよう②</li> <li>・言葉発見2 和語・漢語・外来語</li> <li>・漢字を身につけよう③</li> <li>・文法の窓 表現につながる文法</li> <li>・漢字を身につけよう④</li> <li>・漢字を身につけよう⑤</li> <li>・漢字を身につけよう⑥</li> <li>・漢字のしくみ 四字熟語</li> <li>・漢字を身につけよう⑦</li> <li>・漢字を身につけよう⑧</li> <li>・歌の言葉 群青</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ 情報の扱い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の読書体験 言葉は傘</li> <li>・和歌の世界——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集</li> <li>・おくのほそ道</li> <li>・言葉発見3 言葉の現在・過去・未来</li> <li>・論語</li> <li>・言葉発見4 慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>・読書活動 ブックトーク</li> </ul>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称 教育出版】(中学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称		
	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法の小窓1 言葉の単位</li> <li>・言葉と社会1 言葉とコミュニケーション</li> <li>・漢字の練習1</li> <li>・漢字の広場1 漢字の部首</li> <li>・言葉の小窓1 日本語の音声</li> <li>・漢字の広場2 画数と活字の字体</li> <li>・文法の小窓2 文の成分</li> <li>・漢字の練習2</li> <li>・漢字の練習3</li> <li>・言葉の小窓2 日本語の文字</li> <li>・漢字の練習4</li> <li>・漢字の広場3 漢字の音と訓</li> <li>・漢字の練習5</li> <li>・文法の小窓3 単語のいろいろ</li> <li>・漢字の広場4 熟語の構成</li> <li>・漢字の練習6</li> <li>・漢字の練習7</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ては編集されている</li> <li>・写真で「事実」を表現する</li> <li>・広告の情報を考える</li> <li>・漫画で「物語」を表現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広がる本の世界1</li> <li>・四季のたより 春 草萌</li> <li>・広がる本の世界2</li> <li>・ペンチ</li> <li>・広がる本の世界3</li> <li>・四季のたより 夏 涼し</li> <li>・広がる本の世界4</li> <li>・四季のたより 秋 爽やか</li> <li>・昔話と古典——箱に入った桃太郎——</li> <li>・物語の始まり——竹取物語——</li> <li>・故事成語——中国の名言——</li> <li>・広がる本の世界5</li> <li>・蜘蛛の糸</li> <li>・広がる本の世界6</li> <li>・広がる本の世界7</li> <li>・広がる本の世界8</li> <li>・四季のたより 冬 寒木</li> <li>・広がる本の世界9</li> <li>・言葉の小窓3 方言と共通語</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法の小窓1 活用のない自立語</li> <li>・漢字の広場1 まちがえやすい漢字</li> <li>・漢字の練習1</li> <li>・言葉の小窓1 敬語</li> <li>・言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字の広場2 漢字の成り立ち</li> <li>・文法の小窓2 活用のある自立語</li> <li>・漢字の練習2</li> <li>・漢字の練習3</li> <li>・漢字の広場3 漢字の多義性</li> <li>・漢字の練習4</li> <li>・文法の小窓3 付属語のいろいろ</li> <li>・漢字の練習5</li> <li>・言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語</li> <li>・漢字の広場4 同音の漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSから自由になるために</li> <li>・脚本で動きを説明する</li> <li>・映像作品の表現を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広がる本の世界1</li> <li>・四季のたより 春 花</li> <li>・広がる本の世界2</li> <li>・夢を跳ぶ</li> <li>・広がる本の世界3</li> <li>・四季のたより 夏 ほととぎす</li> <li>・広がる本の世界4</li> <li>・四季のたより 秋 紅葉</li> <li>・敦盛の最期——平家物語——</li> <li>・随筆の味わい——枕草子・徒然草——</li> <li>・二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉——</li> <li>・坊っちゃん</li> <li>・広がる本の世界5</li> <li>・広がる本の世界6</li> <li>・広がる本の世界7</li> <li>・広がる本の世界8</li> <li>・四季のたより 冬 雪</li> <li>・広がる本の世界9</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の練習1</li> <li>・漢字の広場1 呉音・漢音・唐音</li> <li>・文法の小窓1 助詞のはたらき</li> <li>・漢字の広場2 熟字訓</li> <li>・言葉の小窓1 和語・漢語・外来語</li> <li>・漢字の練習2</li> <li>・漢字の練習3</li> <li>・文法の小窓2 助動詞のはたらき</li> <li>・言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現</li> <li>・漢字の広場3 異字同訓</li> <li>・漢字の練習4</li> <li>・漢字の広場4 四字熟語</li> <li>・漢字の練習5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア・リテラシーはなぜ必要か？</li> <li>・新聞が伝える情報を考える</li> <li>・実用文の情報を捉えて生かす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広がる本の世界1</li> <li>・薔薇のボタン</li> <li>・広がる本の世界2</li> <li>・四季のたより 春 春惜しむ</li> <li>・広がる本の世界3</li> <li>・四季のたより 夏 夏の果</li> <li>・広がる本の世界4</li> <li>・四季のたより 秋 暮の秋</li> <li>・旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』——</li> <li>・和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——</li> <li>・風景と心情——漢詩を味わう——</li> <li>・最後の一句</li> <li>・言葉の小窓3 慣用句・ことわざ</li> <li>・広がる本の世界5</li> <li>・広がる本の世界6</li> <li>・広がる本の世界7</li> <li>・四季のたより 冬 歳の暮</li> <li>・広がる本の世界8</li> </ul>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称 光村図書】(中学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている単元の名称		
	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を届ける</li> <li>・言葉1 音声の仕組みや働き</li> <li>・漢字1 漢字の組み立てと部首</li> <li>・漢字に親しもう1</li> <li>・言葉2 指示する語句と接続する語句</li> <li>・言葉3 さまざまな表現技法</li> <li>・文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう</li> <li>・語彙を豊かに 心情を表す言葉</li> <li>・漢字2 漢字の音訓</li> <li>・漢字に親しもう2</li> <li>・漢字に親しもう3</li> <li>・文法への扉2 言葉の関係を考えよう</li> <li>・漢字に親しもう4</li> <li>・漢字に親しもう5</li> <li>・文法への扉3 単語の性質を見つけよう</li> <li>・漢字3 漢字の成り立ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き留める</li> <li>・情報整理のレッスン 比較・分類</li> <li>・情報整理の達人になろう</li> <li>・思考のレッスン1 意見と根拠</li> <li>・思考のレッスン2 原因と結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を調べる</li> <li>・季節のしおり 春</li> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・本の中の中学生</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> <li>・季節のしおり 夏</li> <li>・言葉4 方言と共通語</li> <li>・季節のしおり 秋</li> <li>・古典の世界</li> <li>・蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から</li> <li>・今に生きる言葉</li> <li>・季節のしおり 冬</li> <li>・研究の現場ようこそ</li> <li>・本の世界を広げよう</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう1</li> <li>・文法への扉1 単語をどう分ける?</li> <li>・漢字1 熟語の構成</li> <li>・漢字に親しもう2</li> <li>・言葉1 類義語・対義語・多義語</li> <li>・語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉</li> <li>・言葉2 敬語</li> <li>・漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</li> <li>・漢字に親しもう3</li> <li>・文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。</li> <li>・漢字に親しもう4</li> <li>・漢字に親しもう5</li> <li>・文法への扉3 一字違いで大違い</li> <li>・言葉3 話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字3 送り仮名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報整理のレッスン 思考の視覚化</li> <li>・メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> <li>・デジタル市民として生きる</li> <li>・思考のレッスン1 根拠の吟味</li> <li>・思考のレッスン2 具体と抽象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枕草子</li> <li>・季節のしおり 春</li> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・翻訳作品を読み比べよう</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> <li>・季節のしおり 夏</li> <li>・季節のしおり 秋</li> <li>・「平家物語」の世界</li> <li>・扇の的——「平家物語」から</li> <li>・仁和寺にある法師——「徒然草」から</li> <li>・漢詩の風景</li> <li>・季節のしおり 冬</li> <li>・「自分らしさ」を認め合う社会へ</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう1</li> <li>・文法への扉1 「走って」いるのは誰?</li> <li>・言葉1 相手や場に応じた言葉遣い</li> <li>・漢字1 熟語の読み方</li> <li>・漢字に親しもう2</li> <li>・言葉2 和語・漢語・外来語</li> <li>・漢字2 漢字の造語力</li> <li>・漢字に親しもう3</li> <li>・文法への扉2 「ない」の違いがわからない?</li> <li>・漢字3 漢字のまとめ</li> <li>・漢字に親しもう4</li> <li>・漢字に親しもう5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考のレッスン 具体化・抽象化</li> <li>・実用的な文章を読もう</li> <li>・報道文を比較して読もう</li> <li>・情報整理のレッスン 情報の信頼性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びて時に之を習ふ——「論語」から</li> <li>・季節のしおり 春</li> <li>・語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化</li> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・「私の一冊」を探しにいこう</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> <li>・季節のしおり 夏</li> <li>・言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>・季節のしおり 秋</li> <li>・和歌の世界</li> <li>・君待つと——万葉・古今・新古今</li> <li>・夏草——「おくのほそ道」から</li> <li>・つながる古典</li> <li>・古典名作選</li> <li>・季節のしおり 冬</li> <li>・本は世界への扉</li> <li>・読書案内 本の世界を広げよう</li> </ul>

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」話す活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・「似ている言葉」スピーチ 中心を明確にして話そう	・プレゼンテーション 説得力のある提案をしよう	・条件スピーチ 場面に応じて話そう
三省堂	・スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える	・プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	・パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う
教出	・お気に入りの一品を紹介する ・構成を考えて話す	・いろいろな立場や考えを踏まえる ・課題を設定して伝える	・情報を確かめてスピーチをする ・構成を工夫して主張をまとめる
光村	・話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする ・一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	・魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする ・国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	・説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす ・三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」聞く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・インタビュー	・意見と根拠の聞き方	・提案や主張の聞き方
三省堂	該当単元なし	該当単元なし	該当単元なし
教出	・調べた内容を聞く	・相違点を明確にして聞く	・評価しながらスピーチを聞く
光村	・「聞く」情報を聞き取り、要点を伝える ・聞き上手になろう 質問で話を引き出す	・「聞く」意見を聞き、整理して検討する ・聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す ・国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	・「聞く」意見を聞き、適切さを判断する ・聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」話し合う活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・グループディスカッション 互いの発言を結び付けて話し合おう	・リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を解決しよう	・合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう
三省堂	・グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる ・グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って	・グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める ・情報誌 地域の魅力を振り返って	・グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める ・情報の信頼性を確かめる ・名言集 中学校生活を振り返って
教出	・発言を結びつけて話し合う	・さまざまな考えを踏まえ討論する	・「対話力」とは何か ・意見を共有しながら話し合う
光村	・「話し合い(進行)」進め方について考えよう ・話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	・「話し合い(進行)」話し合いの流れを整理しよう ・立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	・「話し合い(進行)」話し合いを効果的に進めよう ・合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」説明的な文章を書く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食文化」のレポート 比較して分かったことを伝えよう</li> <li>・「写真」の意見文 根拠を明確にして書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう</li> <li>・「地図」の意見文 根拠を吟味して書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広告」の批評文 観察・分析して論じよう</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる</li> <li>・意見文 根拠を明確にして考えを述べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿文 複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す</li> <li>・論説文 構成を工夫して考えを伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く</li> <li>・批評文 観察・分析を通して評価する</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明確にして意見文を書く</li> <li>・報告文を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の投書を書く</li> <li>・構成を明確にして説明文を書く</li> <li>・確かな根拠をもとに意見文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観性や信頼性のある記事を書く</li> <li>・説得力のある批評文を書く</li> <li>・自己PR文を書く</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く</li> <li>・根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する</li> <li>・一年間の学びを振り返る 要点を資料にまとめ、発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く</li> <li>・[推敲] 論理の展開を整える</li> <li>・考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く</li> </ul>

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」実用的な文章を書く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内や報告の文章</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼状とお礼状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境」の新聞 編集して伝えよう</li> <li>・時を超える手紙 今の思いをまとめよう</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える</li> <li>・グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く</li> <li>・情報誌 地域の魅力を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字一字 自分自身や社会を見つめる</li> <li>・名言集 中学校生活を振り返って</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料をもとに紹介文を書く</li> <li>・材料を整理して案内文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙・メールを整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生活をまとめて作品集を作る</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目を立てて書こう 案内文を書く</li> <li>・[推敲] 読み手の立場に立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る</li> <li>・表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く</li> <li>・[推敲] 表現の効果を考える</li> <li>・国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする</li> </ul>

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」文学的な文章を書く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の創作</li> <li>・日常生活から生まれる随筆 心に残る出来事を表現しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌の創作</li> <li>・短歌から始まる物語 いきいきと描き出そう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の創作と句会</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆 体験に向き合い意味づける</li> <li>・詩 思いや発見をリズムに乗せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す</li> <li>・創作文 読みたくなるしくみを工夫する</li> </ul>	当該単元なし
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連作ショートショート」を書く</li> </ul>	当該単元なし
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の創作教室</li> <li>・構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌の創作教室</li> <li>・描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の創作教室</li> </ul>

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」説明的な文章の作品名と作者名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>朗読の世界(魚住りえ)</li> <li>詩の心——発見の喜び(嶋岡農)</li> <li>オオカミを見る目(高槻成紀)</li> <li>平和のボタン(弓野匡純)</li> <li>私のタンポポ研究(保谷彰彦)</li> <li>ニュースの見方を考えよう(池上彰)</li> <li>羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡(満園文博)</li> <li>チョウはなぜ飛ぶか(日高敏隆)</li> <li>「ろう者」として生きる(忍足亜希子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌を楽しむ(道浦母都子)</li> <li>ネコだって推理できる(高木佐保)</li> <li>鯉節——世界に誇る伝統食(小泉武夫)</li> <li>黄金の扇風機(田中真知)</li> <li>サハラ砂漠の茶会(千住博)</li> <li>「正しい」言葉は信じられるか(香西秀信)</li> <li>共有地の悲劇(伊勢武史)</li> <li>無理なくできることから(田中直樹)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳句の読み方、味わい方(片山由美子)</li> <li>絶滅の意味(中静透)</li> <li>何のために「働く」のか(姜尚中)</li> <li>受け取る「利他」(中島岳志)</li> <li>「利己」と「利他」(児玉聡)</li> <li>夜を乗り越える(又吉直樹)</li> <li>何のために「学ぶ」のか(茂木健一郎)</li> <li>本の読み方(平野啓一郎)</li> <li>本を読めなくなった人のための読書論(若松英輔)</li> <li>読書の価値(森博嗣)</li> <li>小説以外(恩田陸)</li> <li>いつものように新聞が届いた——メディアと東日本大震災(今野俊宏)</li> <li>好きの地平線を探して——宇宙からウクライナへ(井上榛香)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペンギンの防寒着(上田一生)</li> <li>クジラの飲み水(大隅清治)</li> <li>本を読むことのおもしろさ(又吉直樹)</li> <li>一〇〇円の価値を考える(八木陽子)</li> <li>「このあたり」ってどのあたり?(野村萬斎)</li> <li>漢字文化をアレンジする日本の力(笹原宏之)</li> <li>「みんなんでいるから大丈夫」の怖さ(山村武彦)</li> <li>意味と意図——コミュニケーションを考える(川添愛)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙に行くための素材(白石紀子)</li> <li>人間は他の星に住むことができるのか(渡部潤一)</li> <li>短歌の世界(俵万智)</li> <li>壁に残された伝言(井上恭介)</li> <li>生涯の友と出会う(小川洋子)</li> <li>味は味覚だけでは決まらない(源河亨)</li> <li>一〇〇年後の水を守る(橋本淳司)</li> <li>飲み水は不足しているか(沖大幹)</li> <li>動物園でできること(奥山英登)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「批判的に読む」とは(吉川芳則)</li> <li>間の文化(長谷川耀)</li> <li>俳句の世界(夏井いつき)</li> <li>海を越えた故郷の味(安田菜津紀)</li> <li>言葉は傘(藤崎彩織)</li> <li>フロム規制の物語——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざま(神里達博)</li> <li>見たいものだけ見る私たち(笹原和俊)</li> <li>私とは何か(平野啓一郎)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞くということ(阿川佐和子)</li> <li>自分の脳を知っていますか(池谷裕二)</li> <li>全ては編集されている(池上彰)</li> <li>「エシカル」に生きよう(末吉里花)</li> <li>森には魔法つかいがいる(畠山重篤)</li> <li>子どもの権利(大谷美紀子)</li> <li>花の形に秘められたふしぎ(中村匡男)</li> <li>言葉がつながる世界遺産(橋本典明)</li> <li>地域から世界へ——ものづくりで未来を変える——(関根由子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の花火の楽しみ(小野里公成)</li> <li>水の山 富士山(丸井敦尚)</li> <li>夢を跳ぶ(谷真海)</li> <li>SNSから自由になるために(高橋暁子)</li> <li>「ここにいる」を言う意味(ロバート キャンベル)</li> <li>一〇〇年後のみなさんへ(緒方貞子)</li> <li>紙の建築(坂茂)</li> <li>短歌の味わい(穂村弘)</li> <li>ガイアの知性(龍村仁)</li> <li>悩む力(姜尚中)</li> <li>学ぶ力(内田樹)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薔薇のボタン(梯久美子)</li> <li>メディア・リテラシーはなぜ必要か?(森達也)</li> <li>AIは哲学できるか(森岡正博)</li> <li>async——同期しないこと(坂本龍一)</li> <li>問いかける言葉(国谷裕子)</li> <li>俳句の味わい(堀本祐樹)</li> <li>宇宙からの贈りもの(毛利衛)</li> <li>人間と科学・技術(志村史夫)</li> <li>生命とは何か(福岡伸一)</li> <li>地球は死にかかっている(手塚治虫)</li> <li>青春の歌——無名性の光(穂村弘)</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイコンは大きな根?(稲垣栄洋)</li> <li>ちょっと立ち止まって(桑原茂夫)</li> <li>比喩で広がる言葉の世界(森山卓郎)</li> <li>守ろう 地域の言葉(木部暢子)</li> <li>「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(鈴木俊貴)</li> <li>「不便」の価値を見つめ直す(川上浩司)</li> <li>四百年のスローライフ(渡辺佑基)</li> <li>はやぶさ2 最強ミッションの真実(津田雄一)</li> <li>未来をひらく微生物(大島泰郎)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマゼミ増加の原因を探る(沼田英治)</li> <li>短歌に親しむ(栗木京子)</li> <li>言葉の力(大岡信)</li> <li>デジタル市民として生きる(坂本旬)</li> <li>「わからない」は人生の宝物(鴻巣友季子)</li> <li>モアイは語る——地球の未来(安田喜憲)</li> <li>君は「最後の晩餐」を知っているか(布施英利)</li> <li>「最後の晩餐」の新しさ(藤原えりみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作られた「物語」を越えて(山極寿一)</li> <li>俳句の可能性(宇多喜代子)</li> <li>まずは、科学的根拠に基づき、現状や原因を正しく理解すること(真鍋淑郎)</li> <li>社会全体で解決できる仕組みを作る(伊勢武史)</li> <li>一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩(堅達京子)</li> <li>それでも、言葉を(鷲田清一)</li> <li>天、共に在り(中村哲)</li> <li>アフガニスタンの診療所から(中村哲)</li> <li>わたしは「ゼロ弾きのゴーシュ」(中村哲)</li> <li>極夜行(角幡唯介)</li> </ul>

※( )内は作者名

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」文学的な文章の作品名と筆者名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>蜘蛛の糸 (芥川龍之介)</li> <li>こんぎつね (新美南吉)</li> <li>私たちの未来 (朝井リョウ)</li> <li>さんちき (吉橋通夫)</li> <li>たまごを持つように (まはら三桃)</li> <li>はてしない物語 (ミヒヤエル・エンデ)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あの夕暮れへ帰る (原田マハ)</li> <li>足跡 (瀧羽麻子)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>時をかける少女 (筒井康隆)</li> <li>この世界の片隅に (蒔田陽平)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界への入り口 (温又柔)</li> <li>形 (菊池寛)</li> <li>百科事典少女 (小川洋子)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>竜 (今江祥智)</li> <li>空中ブランコ乗りのキキ (別役実)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>トロッコ (芥川龍之介)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン=ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミロングホームルーム (戸森しるこ)</li> <li>小さな手袋 (内海隆一郎)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>握手 (井上ひさし)</li> <li>舌巻は猫である (夏目漱石)</li> <li>一瞬の風になれ (佐藤多佳子)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>坊っちゃん (夏目漱石)</li> <li>銀河鉄道の夜 (宮沢賢治)</li> <li>ノートルダムの鐘 (ヴィクトル=ユゴー)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜蝶 (田丸雅智)</li> <li>ペンチ (ハンス=ペーター=リヒター)</li> <li>蜘蛛の糸 (芥川龍之介)</li> <li>オツベルと象 (宮沢賢治)</li> <li>音を追いかけて (まはら三桃)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン=ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タオル (重松清)</li> <li>銀河鉄道の夜 (宮沢賢治)</li> <li>風少年 (小檜山博)</li> <li>坊っちゃん (夏目漱石)</li> <li>夏の葬列 (山川方夫)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩 (長田弘)</li> <li>さくら餅そのほか (川上弘美)</li> <li>立ってくる春 (川上弘美)</li> <li>なぜ物語が必要なのか (小川洋子)</li> <li>私 (三崎亜記)</li> <li>最後の一句 (森鷗外)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>パースデイ・ガール (村上春樹)</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじまりの風 (蜂飼耳)</li> <li>よだかの星 (宮沢賢治)</li> <li>蜘蛛の糸 (芥川龍之介)</li> <li>あと少し、もう少し (瀬尾まいこ)</li> <li>西の魔女が死んだ (梨木香歩)</li> <li>大人になれなかった弟たちに…… (米倉育加年)</li> <li>星の花が降るころに (安東みきえ)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> <li>二十歳になった日 (さくらももこ)</li> <li>待ちわびるという幸せ (中川樹里)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスプラネット (椎名誠)</li> <li>星の王子さま (サン=テグジュペリ)</li> <li>ヒューマノイド (伊坂幸太郎)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>父と話せば (温又柔)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>握手 (井上ひさし)</li> <li>言葉の釣り糸を垂らす (いしいしんじ)</li> <li>羊と鋼の森 (宮下奈都)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>雪国 (川端康成)</li> <li>カカ・ムラド (中村哲)</li> <li>希望の一滴 (中村哲)</li> <li>温かいスープ (今道友信)</li> <li>アラスカとの出会い (星野道夫)</li> <li>律儀な桜 (角田光代)</li> </ul>

※ ( ) 内は作者名

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」 詩歌 (古典を含まない) の作品名と作者名】 (中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の五線譜 (高階紀一)</li> <li>・チューリップ (三好達治)</li> <li>・雲 (山村暮鳥)</li> <li>・虫 (八木重吉)</li> <li>・土 (三好達治)</li> <li>・最後のシャボン玉 (銀色夏生)</li> <li>・ばら (工藤直子)</li> <li>・波 (江口あけみ)</li> <li>・月夜の電車 (尾形亀之助)</li> <li>・月夜の浜辺 (中原中也)</li> <li>・胸にみる (立原道造)</li> <li>・一本の木は (岸田衿子)</li> <li>・わたしの中にも (新川和江)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来へ (谷川俊太郎)</li> <li>・桜ばな (岡本かの子)</li> <li>・金色の (与謝野晶子)</li> <li>・海を知らぬ (寺山修司)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・くれなゐの (正岡子規)</li> <li>・最上川 (斎藤茂吉)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・「寒いね」と (俵万智)</li> <li>・さみしくて (杉崎恒夫)</li> <li>・よく晴れた (岡野大嗣)</li> <li>・幸福と (服部真里子)</li> <li>・距離を置く (千原こはぎ)</li> <li>・落葉松 (北原白秋)</li> <li>・ほんとうに (穂村弘)</li> <li>・卒業生 (千葉聡)</li> <li>・わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命は (吉野弘)</li> <li>・たんぼぼや (中村汀女)</li> <li>・囁を (星野立子)</li> <li>・をりとて (飯田蛇笏)</li> <li>・春風や (高浜虚子)</li> <li>・万緑の (中村草田男)</li> <li>・赤蜻蛉 (正岡子規)</li> <li>・冬菊の (水原秋櫻子)</li> <li>・分け入っても (種田山頭火)</li> <li>・水の地球 (正木ゆう子)</li> <li>・かき氷 (小林凜)</li> <li>・つきぬけて (山口誓子)</li> <li>・見えさうな (津川絵理子)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・雪の夜の (日野草城)</li> <li>・ふるさとを (照井翠)</li> <li>・レモン哀歌 (高村光太郎)</li> <li>・生ましめんかな (栗原貞子)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のリレー (谷川俊太郎)</li> <li>・それだけでいい (杉みき子)</li> <li>・故郷 (高野辰之)</li> <li>・始まりの歌 (長屋晴子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名づけられた葉 (新川和江)</li> <li>・「寒いね」と (俵万智)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・くれなゐの (正岡子規)</li> <li>・その子二十 (与謝野晶子)</li> <li>・みちのくの (斎藤茂吉)</li> <li>・草わかば (北原白秋)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・列車にて (寺山修司)</li> <li>・シャボンまみれの (穂村弘)</li> <li>・空をゆく (梅内美華子)</li> <li>・細胞の (永田紅)</li> <li>・大阿蘇 (三好達治)</li> <li>・人質 (シラー)</li> <li>・宿命 (藤原聡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言の森 (西尾勝彦)</li> <li>・桐一葉 (高浜虚子)</li> <li>・秋つばめ (黒田杏子)</li> <li>・ぬうぬうと (藤本敏史)</li> <li>・林道の (村上健志)</li> <li>・囁りを (星野立子)</li> <li>・葉の花が (細見綾子)</li> <li>・餅して (杉田久女)</li> <li>・万緑の (中村草田男)</li> <li>・芋の露 (飯田蛇笏)</li> <li>・星空へ (橋本多佳子)</li> <li>・いくたびも (正岡子規)</li> <li>・綿虫や (神野紗希)</li> <li>・分け入っても (種田山頭火)</li> <li>・入れものが (尾崎放哉)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・シャボンまみれの (穂村弘)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・山のあなた (カール=ブッセ)</li> <li>・群青 (Ayase)</li> </ul>

※1 ( )内は作者名

※2 作品名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音程度を記載した。

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」 詩歌 (古典を含まない) の作品名と作者名】 (中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふしぎ (金子みすゞ)</li> <li>・河童と蛙 (草野心平)</li> <li>・春 (安西冬衛)</li> <li>・耳 (ジャン=コクトー)</li> <li>・虫 (八木重吉)</li> <li>・雪 (三好達治)</li> <li>・葡萄に種子があるように (高見順)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名づけられた葉 (新川和江)</li> <li>・虹の足 (吉野弘)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・濁流だ (斎藤史)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・春のプール (穂村弘)</li> <li>・くれなゐの (正岡子規)</li> <li>・ああ早月 (与謝野晶子)</li> <li>・みちのくの (斎藤茂吉)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・日本脱出 (塚本邦雄)</li> <li>・海を知らぬ (寺山修司)</li> <li>・俺は帰るぞ (佐佐木幸綱)</li> <li>・自転車の (俄万智)</li> <li>・おねがいね (東直子)</li> <li>・もう二度と (小島なお)</li> <li>・「すごい人」 (穂村弘)</li> <li>・「すごい人」 (下目黒りんご)</li> <li>・「もう一度」 (本田真弓)</li> <li>・ふるさとの (石川啄木)</li> <li>・豚 (木坂涼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ (牟礼慶子)</li> <li>・春に (谷川俊太郎)</li> <li>・渡り鳥 (上田五千石)</li> <li>・おおかみに (金子兜太)</li> <li>・ずぶぬれて (住宅顕信)</li> <li>・火焰土器 (堀本裕樹)</li> <li>・春風や (高浜虚子)</li> <li>・卒業の (芝不器男)</li> <li>・ものの種 (日野草城)</li> <li>・夏草や (正岡子規)</li> <li>・万緑の (中村草田男)</li> <li>・かぶとむし (宇多喜代子)</li> <li>・星空へ (橋本多佳子)</li> <li>・秋草に (木下夕爾)</li> <li>・よし分かった (池田澄子)</li> <li>・冬菊の (水原秋櫻子)</li> <li>・木の葉 (加藤秋邨)</li> <li>・息白く (後藤夜半)</li> <li>・分け入っても (種田山頭火)</li> <li>・咳をしても (尾崎放哉)</li> <li>・戦争が (渡部白泉)</li> <li>・向日葵を (加留かるか)</li> <li>・あかん (島田陽子)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・水の星 (茨木のり子)</li> <li>・雲を雲と (澤村斉美)</li> <li>・「うごく」 (伴風花)</li> <li>・互いしか (野口あや子)</li> <li>・椅子にもたれ (永田紅)</li> <li>・どこに行けば (永田紅)</li> <li>・ああ君が (永田紅)</li> <li>・十代に (小島なお)</li> <li>・やわらかな想い (さくらももこ)</li> </ul>

※1 ( ) 内は作者名

※2 作品名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音程度を記載した。

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」詩歌（古典を含まない）の作品名と作者名】（中学校 国語）

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のリレー（谷川俊太郎）</li> <li>・あしたこそ たんぼぼはるか（工藤直子）</li> <li>・おれはかまきり かまきりりゅうじ（工藤直子）</li> <li>・風景 純銀もぎいく（山村暮鳥）</li> <li>・雲（山村暮鳥）</li> <li>・朝（吉田加南子）</li> <li>・魚と空（木坂涼）</li> <li>・チューリップ（三好達治）</li> <li>・夕日がせなかをおしてくる（阪田寛夫）</li> <li>・ねがいごと たんぼぼ はるか（工藤直子）</li> <li>・ふしぎ（金子みすゞ）</li> <li>・ひとり林に……（立原道造）</li> <li>・土（三好達治）</li> <li>・六月を（正岡子規）</li> <li>・山頂から（小野十三郎）</li> <li>・大阿蘇（三好達治）</li> <li>・素朴な琴（八木重吉）</li> <li>・雪（三好達治）</li> <li>・なつかしき（石川啄木）</li> <li>・冬が来た（高村光太郎）</li> <li>・ぼくが ここに（まど・みちお）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ（牟礼慶子）</li> <li>・窓あけて（種田山頭火）</li> <li>・やはらかに（石川啄木）</li> <li>・清水へ（与謝野晶子）</li> <li>・くれなゐの（正岡子規）</li> <li>・夏のかぜ（与謝野晶子）</li> <li>・死に近き（斎藤茂吉）</li> <li>・鯨の世紀（馬場あき子）</li> <li>・蛇行する（横万智）</li> <li>・白鳥は（若山牧水）</li> <li>・不來方の（石川啄木）</li> <li>・のぼり坂の（佐々木幸綱）</li> <li>・ぼぼぼと（河野裕子）</li> <li>・観覧車（栗木京子）</li> <li>・一本の（木下龍也）</li> <li>・弔して（杉田久女）</li> <li>・海を知らぬ（寺山修司）</li> <li>・月夜の浜辺（中原中也）</li> <li>・葡萄食ふ（中村草田男）</li> <li>・葛の花（釈道空）</li> <li>・街をゆき（木下利玄）</li> <li>・「寒いね」と（横万智）</li> <li>・鍵（茨木のり子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界はうつくしいと（長田弘）</li> <li>・春風や（高浜虚子）</li> <li>・どの子にも（飯田龍太）</li> <li>・いくたびも（正岡子規）</li> <li>・跳箱の（友岡子郷）</li> <li>・たんぼぼの（加藤楸邨）</li> <li>・分け入つても（種田山頭火）</li> <li>・バスを待ち（石田波郷）</li> <li>・ちるさくら（高屋窓秋）</li> <li>・萬緑の（中村草田男）</li> <li>・山越える（桂信子）</li> <li>・いなびかり（橋本多佳子）</li> <li>・金剛の（川端茅舎）</li> <li>・冬菊の（水原秋櫻子）</li> <li>・星空は（神野紗希）</li> <li>・咳をしても（尾崎放哉）</li> <li>・虹立ちて（高浜虚子）</li> <li>・滝落ちて（水原秋櫻子）</li> <li>・挨拶——原爆の写真によせて（石垣りん）</li> <li>・初恋（島崎藤村）</li> <li>・つきぬけて（山口誓子）</li> <li>・秋たつや（三浦樽良）</li> <li>・叱られて（久保田万太郎）</li> <li>・星めぐりの歌（宮沢賢治）</li> <li>・わたしを束ねないで（新川和江）</li> <li>・初日（池田瑛子）</li> </ul>

※1 ( )内は作者名

※2 作品名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音程度を記載した。

「別紙2-5」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 g 発展的な内容を取り上げている箇所の内容】

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	記載なし	記載なし	・古典の文法
三省堂	記載なし	記載なし	記載なし
教出	記載なし	記載なし	・古典文法活用表
光村	記載なし	記載なし	・文語の活用

「別紙2-6」【 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料 】（中学校 国語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	<p>「移り行く浦島太郎の物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】「中学校3年間で学ぶ古典作品」として、「古事記」を紹介（1年P143）</li> <li>「さまざまな古典作品」</li> <li>・【本文】巻末資料として「古事記」の「望郷の歌」を掲載（1年P265）</li> </ul>
三省堂	<p>「古事記」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】巻末資料として、「大国主神と因幡の白兔」と「倭建命の望郷の歌」の原文及び現代語訳を掲載（1年P280-285）</li> <li>「日本文学名作集」</li> <li>・【資料】巻末資料として、日本文学名作集の物語・随筆などとして「古事記」を紹介（1年P292、2年P298、3年P296）</li> </ul>
教出	<p>「昔話と古典 ——箱に入った桃太郎——」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】奈良時代の書物として、「日本書記」を紹介（1年P115）</li> <li>「古典文学の名作」</li> <li>・【資料】巻末資料として、古典文学の名作として「古事記」を紹介（3年P308）</li> </ul>
光村	<p>「古典の世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】古典の導入教材として「古事記」「日本書記」を紹介（1年P152）</li> </ul>

「別紙2-7」【 防災や自然災害の扱い 】（中学校 国語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	<p>「世界を広げる本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、地震の仕組みについての本を紹介（1年P187）</li> </ul> <p>「未来を考える本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、東日本大震災についての本を紹介（1年P229）</li> </ul> <p>「いつものように新聞が届いた——メディアと東日本大震災」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】【資料】情報やメディアの意義について考えを深める資料として、東日本大震災での事例を扱った説明的な文章を掲載（3年P188-197）</li> </ul> <p>「合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】話し合いの例として、防災をテーマにした話し合いを掲載（3年P205）</li> </ul> <p>「中学生におすすめの本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、災害を扱った本を複数紹介（3年P275）</li> </ul>
三省堂	<p>「情報を関連づける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】情報を関連づける単元として、防災についての様々な資料を掲載（1年P146-157）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、阪神淡路大震災を扱った本を紹介（1年P245）</li> </ul> <p>「情報誌 地域の魅力を振り返って」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】情報誌のテーマの例として、「防災便利帳」を掲載（2年P231）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書紹介として、東日本大震災の被災者についての本を紹介（2年P258）</li> </ul> <p>「水田のしくみを探る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【資料】巻末資料として、水田が洪水を防ぐ仕組みについて解説した内容を含む説明的文章を掲載（2年P277-280）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、東日本大震災についての本を紹介（3年P249）</li> </ul>
教出	<p>「森には魔法使いがいる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「読むこと」の教材として、東日本大震災の被害について紹介する説明的な文章を掲載（1年P92-100）</li> </ul> <p>「課題を設定して伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】課題を設定して話すテーマの例として、「わが家の災害対策」を掲載（2年P65）</li> </ul> <p>「夢を跳ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】読書案内として、東日本大震災を経験した筆者の体験を紹介（2年P74-79）</li> </ul> <p>「持続可能な未来を作るために —— 不平等のない社会を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】持続可能な社会の実現について考える単元で、自然災害について言及する文章を掲載（2年P98）</li> </ul> <p>「紙の建築」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】「読むこと」の教材として、被災地でのボランティアの中で試行錯誤を重ねる事例等を取り上げている説明的な文章を掲載（2年P108-114）</li> </ul> <p>「情報の特質を生かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】巻末資料として、情報の特質について考える例として車いすについての情報を掲載（2年P327）</li> </ul> <p>「async——同期しないこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】「読むこと」の教材として、東日本大震災で津波をかぶったピアノを取り上げている説明的文章を掲載（3年P94-97）</li> </ul> <p>「広がる本の世界 4」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、東日本大震災についての本を複数紹介（3年P115）</li> </ul>
光村	<p>「発想を広げる —— 表現テーマ例集」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】巻末資料として、「地域の防災」についてのテーマ例を掲載（1年P283）</li> </ul> <p>「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】【写真】メディアの特徴を生かして情報を集めるための資料として、災害に関する情報発信の例を掲載（2年P76-81）</li> </ul> <p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、被災者の体験について取り上げた本を紹介（2年P200）</li> </ul> <p>「論理の展開を整える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】論理の展開について考える資料として、東日本大震災に関する事例を取り上げた例文を掲載（3年P120-121）</li> </ul> <p>「律儀な桜」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「読むこと」の教材として、東日本大震災被災地の桜について述べた文学的文章を掲載（3年P214）</li> </ul>

「別紙2-8」【 障害者理解に関する扱い 】（中学校 国語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	<p>「『ろう者』として生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「読むこと」の教材として、ろう者である筆者の考えを述べた説明的な文章を掲載（1年P221-223）</li> </ul> <p>「未来を考える本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、障害についての本を複数紹介（1年P228）</li> </ul> <p>「そこに僕はいた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「読むこと」の教材として、義足を利用している人物が登場する文学的文章を掲載（1年P254-260）</li> </ul> <p>「中学生におすすめの本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、障害者スポーツについての本を紹介（2年P278）</li> </ul> <p>「『広告』の批評文 観察・分析して論じよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【資料】観察・分析して評価するための資料として、補助犬への理解を促す広告を掲載（3年P122-123）</li> </ul> <p>「未来を考える本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、手話についての本を紹介（3年P222）</li> </ul>
三省堂	<p>「意見文 根拠を明確にして考えを述べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】意見文を書くための資料として、優先席の利用について意見を交流する活動を設定（1年P199-202）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、障害のある主人公が登場する本を紹介（1年P245-246）</li> </ul> <p>「小さな手袋」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「読むこと」の教材として、身体に不自由のある人物が登場する文学的文章を掲載（2年P170-179）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、失明した主人公の物語や、パラリンピック金メダリストについての本等を紹介（2年P256-257）</li> </ul> <p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、身体の自由と共に音声言語を失った著者の自叙伝やユニバーサルデザインについての本を紹介（3年P244-246）</li> </ul>
教出	<p>「夢を跳ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】読書案内として、パラリンピックについての記述や写真を紹介（2年p74-79）</li> </ul> <p>「広がる本の世界 3」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、障害者理解に関する本を複数紹介（2年P91）</li> </ul> <p>「持続可能な未来を作るために ——不平等のない社会を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】持続可能な社会の実現について考える単元で、障害者理解についての投書を掲載（2年P99）</li> </ul> <p>「広がる本の世界 4」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、ろう者についての本を紹介（2年P116）</li> </ul> <p>「広がる本の世界 6」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、視覚と聴覚に障害のある筆者の本を紹介（3年P208）</li> </ul> <p>「言葉でつかんだ世界— 国枝 慎吾」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】巻末資料として、元車いすテニスプレーヤーについて文章と写真で紹介（3年P306-307）</li> </ul>
光村	<p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、パラリンピックについての本を紹介（1年P203）</li> </ul> <p>「六千回のトライの先に」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】身体に障害のある人を支援する分身ロボットの開発者の随筆を掲載（2年p195-199）</li> </ul> <p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、聴覚障害についての本の紹介や、障害者スポーツを題材にした本について述べたコラムを掲載（2年P200-202）</li> </ul> <p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、記憶障害のある主人公が登場する本を紹介（3年P96）</li> </ul> <p>「考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】【写真】多角的に分析して批評文を書くための資料として、ヘルプマークについての広告やその批評文例を掲載している（3年P138-139）</li> </ul>

「別紙2-9」【 オリンピック・パラリンピックの扱い 】（中学校 国語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	<p>「お試し読書のすすめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、オリンピック選手についての本を紹介（1年P182）</li> </ul> <p>「中学生におすすめの本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、パラリンピック選手についての本を紹介（1年P271）</li> </ul> <p>「夏休みにおすすめの本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、オリンピック出場を目指す主人公たちの物語を描いた本を紹介（2年P86）</li> </ul>
三省堂	<p>「小さな図書館」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、パラリンピック金メダリストについての本を紹介（2年P257）</li> </ul> <p>「読書活動 ブックトーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】ブックトークのテーマ例として、「オリンピックに関連する本」と記載（3年P191）</li> </ul>
教出	<p>「夢を跳ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】読書案内として、パラリンピックについての記述や写真を紹介（2年p74-79）</li> </ul> <p>「言葉でつかんだ世界— 国枝 慎吾」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】巻末資料として、元車いすテニスプレーヤーについて文章と写真で紹介（3年P306-307）</li> </ul>
光村	<p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、パラリンピックについての本を紹介（1年P203）</li> </ul> <p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、古代オリンピックに関する本の紹介（3年P96）</li> </ul> <p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内として、オリンピック選手に関する本の紹介（3年P200）</li> </ul> <p>「発想を広げる —表現テーマ例集」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】巻末資料として、「パラリンピックの歴史」についてのテーマ例を掲載（3年P263）</li> </ul>

「別紙2-10」【 固定的な性別役割分担意識に関する記述等 】（中学校 国語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	記載なし
三省堂	記載なし
教出	「広がる本の世界 7」 ・【資料】読書案内として、父親と母親の役割を交換する物語が描かれている絵本を紹介（1年P190）
光村	記載なし

「別紙3」 【(2) 構成上の工夫】 (中学校 国語)

項目 発行者	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ デジタルコンテンツの扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「領域別教材一覧」を掲載して「言葉の力」を示すことで、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。</li> <li>・「てびき」を掲載し、生徒が自ら学習の流れを捉えたり振り返ったりすることができるようにしている。</li> <li>・「他教科との関連」を掲載し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・全ての生徒の色覚特性に適應するようデザインに配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。</li> <li>・「デジタルコンテンツ一覧」によって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「領域別教材一覧表」を掲載して「つきたい力」を示すことで、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・「学びの道しるべ」を掲載し、生徒が自ら学習の流れを捉えたり振り返ったりすることができるようにしている。</li> <li>・「読み方を学ぼう」を掲載し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。</li> <li>・「二次元コード参照先コンテンツ一覧」によって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「言葉の地図」を掲載して「身につけたい言葉の力」を示すことで、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・「学びナビ」「みちしるべ」を掲載し、生徒が自ら学習の流れを捉えたり振り返ったりすることができるようにしている。</li> <li>・「学びのチャレンジ」を掲載し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。</li> <li>・「まなびリンク」につながる二次元コードによって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「学習の見通しをもとう」を掲載して学習内容や身につける力を示すことで、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・「学びの扉」を掲載し、生徒が自ら学習の流れを捉えたり振り返ったりすることができるようにしている。</li> <li>・「学びのカギ」を掲載し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。</li> <li>・「ICT活用のヒント」によって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。</li> </ul>